

「濤川平成塾」学びの歴史

(旧新・松下村塾) ※ 肩書は講演当時のものを用いています(講義順・敬称略)

開塾記念講演会

- 1月19日『1990年代の世界と日本』京都大学法学部教授 高坂正堯
2月24日『内外経済の展望』(株)三和総研代表取締役副社長 原田和明
4月12日 神奈フィルをバックに演奏 ヴァイオリニスト 前橋汀子
『至高の煌きを求めて』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

第1期〈平成4年度〉基本テーマ「地球上の問題を幅広く学ぶ」

平成4年

- 4月19日『ソ連経済について』(株)東レ顧問 森本忠夫
5月17日『中国問題を考える』東京外語大学教授 中島嶺雄
6月21日『今、政治・経済で何が問題か』政治評論家 早坂茂三
7月19日『これからの日本を考える』上智大学教授 渡部昇一
8月16～17日『ハートビジネス—感動経営—』
(株)資生堂常務取締役 有田英世
9月20日『新しい世界と日本』評論家 竹村健一
10月18日『環境危機と人類の将来』朝日新聞特別編集委員 石弘之
11月15日『21世紀大予測』京都大学名誉教授 森毅
12月20日『学生120年とこれからの日本の教育』
毎日新聞論説委員 矢倉久泰

平成5年

- 1月17日『文化的感動と人生と』産経新聞文化部長 小田孝治
2月21日『日本の経済の現状と展望』
矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾
3月21日『今、日本人はどう生きればいいのか』
新・松下村塾塾長 濤川栄太
第2期〈平成5年度〉基本テーマ
「国際関係と日本の政治・経済・外交・文化・教育」

平成5年

- 4月18日『当面の政局と政界再編成のゆくえ』
毎日新聞論説委員 苫米地重亨
5月16日『当面の政局と政界再編成のゆくえ』
産経新聞論説委員・政治担当川村讓
6月20日『今、なぜ政治なのか!』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
—政治・経済・教育・文化・歴史等、多方面からの日本—
7月18日『政局の激変とこれからの日本』政治評論家 宮崎吉政
8月29～30日『感動的的人生論』(株)資生堂常務取締役 有田英世
9月19日『今に息づく職人芸』産経新聞文化部長 小田孝治

- 10月17日『日本の危機』新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
11月21日『環境政治を世界の流れに』
ー鎌倉から日本・地球へー 鎌倉市長 竹内謙
12月25日『日本人はどう生きればいいのか』
新・松下村塾塾長 濤川栄太
ー激動の時代、いかに生きるべきかー

平成6年

- 1月16日『日本の政治・経済どうなるのだろう』
矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾
2月20日『ラストチャンス』ーこの国を滅ぼしていいのかー
新・松下村塾塾長 濤川栄太
3月20日『今、日本人はどう生きればいいのか』
新・松下村塾塾長 濤川栄太
第3期〈平成6年度〉基本テーマ「日本を識る」

平成6年

- 4月 9日『日本の経済の今とこれから』
元クレディスイス銀行資金為替部副部長 是松孝典
5月21日『戦国時代はじまる。』
あなたはいかなる哲学で乗りきっていくのか』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
6月11日『日本太古の歴史を探る』
スーパー・ジャーナリスト 三浦大介
7月16日『私の会社づくり・国づくり』
東日本ハウス(株)代表取締役社長 中村功
8月20～21日『日本の再生を考える』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
9月3日『日本史に見るこの国のおもしろさ』放送作家 峰順一
10月15日『U p t o D a t eの世界経済・日本経済』
『U p t o D a t eのロシア情勢』
元クレディスイス銀行資金為替部副部長 是松孝典
11月15日『平成超没落へのカウントダウン1』
新・松下村塾塾長 濤川栄太
12月20日『平成超没落へのカウントダウン2』
新・松下村塾塾長 濤川栄太

平成7年

- 1月21日『美の伝承』産経新聞文化部長 小田孝治
2月19日『アジア太平洋時代への日本の戦略』
東京外語大学教授 中島嶺雄
3月11日『これでいいのか、日本の安全保障』
産経新聞論説委員 岡芳輝

第4期〈平成7年度〉基本テーマ「日本の危機」

平成7年

- 4月16日『どうすればいい日本経済、そして経営』
矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾
『U p t o D a t eの金融経済状況①』
『今「前川レポート」を問う』
元クレディスイス銀行資金為替部副部長 是松孝典
- 5月13日『どうすればいい、今日本人は』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
『U p t o D a t eの金融経済状況②』
元クレディスイス銀行資金為替部副部長 是松孝典
- 6月18日『日本の危機をどう乗り越えるか』前出雲市長 岩国哲人
- 7月 9日『43ある元気の法則』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
- 8月30日 東京塾セミナー
『今、企業人は何をやればいいのか』
野村総研主任研究員リチャード・クー
- 9月 9日『テレビメディアから見た日本の危機』
フジテレビアナウンサー 向坂樹興
- 10月15日『どうすれば日本経済は立ち直れるか』
矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾
- 11月11日『今日本の進路はどうあるべきか』
元ポルトガル大使 岡田富美也
- 12月17日『世界の中の日本を見つめて』
(株)資生堂代表取締役社長 福原義春

平成8年

- 1月20日『日本はオウム事件をどう乗り越えればいいのか』
弁護士 伊藤芳朗
- 2月18日『日本のここを直そう』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太
- 23日 名古屋開塾セミナー『今、日本人はどう生きればいいのか』
ーこの厳しい戦国時代の真っ只中、
日本人の精神構造を追求するー
弁護士 伊藤芳朗
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

★三月

第5期〈平成8年度〉基本テーマ

「ブレイクスルーの社会学・人間学・経営学」

平成8年

- 4月13日『現代日本の状況分析』
新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

5月11日『日本経済はどうすればいいのか』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

6月 8日『日本の政治はどうすればいいのか』塾生講義

千葉県八千代市長 大沢一治

東京都議会議員 下村博文

神奈川県横浜市議会議員 中島憲五

東京都板橋区議会議員 尾名高勝

埼玉県新座市議会議員 並木まさる

7月13日『日本の教育を考察する』塾生講義

千葉県立船橋北高等学校教諭 高橋康明

医学博士・松本歯科大学非常勤講師 林春二

福山TMC A国際ビジネス専門学校講師 池田潤治

神奈川県横浜市立上飯田小学校教諭 武田幸子

中萬学院代表取締役社長 中萬隆信

ソニー(株)ISCカンパニー企画推進室課長 石川洋

8月10日『日ロ戦争前後の日本人の律義さと創造性』

経済評論家 是松孝典

9月14日『地球環境と日本の使命』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

10月12日『憲法はこのままでいいのか』弁護士 佐藤欣子

11月 9日『日本人の生き方を検証する』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

12月14日『日本の企業が生きのびるには』経済評論家 是松孝典

平成9年

1月11日『日本状況把握』新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

2月 8日『世界状況把握』新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

3月 8日『日本人はどう生きればいいのか』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

第6期〈平成9年度〉基本テーマ「日本を没落、解体させてはならない」

平成9年

4月16日『どうすれば立ち直れる日本経済・企業経営』

矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾

5月10日『日本史を見つめて』学習院大学教授 坂本多加雄

6月14日『歴史教育を問い直す』東京大学教授 藤岡信勝

7月12日『日本とドイツの国家構造を比較する』

電気通信大学教授 西尾幹二

8月30日『この国の運命』評論家 西部誓邁

9月13日『歴史から学ぶ日本の未来』早稲田大学教授 川勝平太

10月18日『日本外交の進むべき道』外交評論家 岡崎久彦

11月 8日『戦後日本人の生き方を検証する』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

12月13日『これでいいのか日本の教育』明星大学教授 高橋史朗

平成10年

- 1月10日『日本近代史の見方』東京大学名誉教授 伊藤隆
2月14日『私のめざす日本再生への道』
衆議院議員、元防衛庁・環境庁長官 愛知和男
3月14日『日本よ、奮い立とう』日本BE研究所主宰 行徳哲男

第7期〈平成10年度〉基本テーマ「地球上の問題を幅広く学ぶ」

平成10年

- 4月19日『真実の報道はあり得るのか』
産経新聞社夕刊フジ編集局長 稲田幸男
5月17日『古代史再前線からの眺望』國學院大学講師 高森明勅
6月13日『真実の報道はあり得るのか』月刊正論」編集長 大島信三
7月11日『朝鮮半島の情勢について』現代「コリア」編集長 西岡力
8月 8日『この国は、このままでいいのか』漫画家 加藤芳郎
9月12日『日本の歴史をつらぬくもの』電気通信大学教授 西尾幹二
10月17日『南京事件の真実』産経新聞論説委員 石川水穂
11月14日『雑誌編集者の目（『事実』の真相）』
月刊「諸君！」編集長 立林昭彦
12月12日『日本美術のすばらしさ』東北大学教授 田中英道

平成11年

- 1月23日『斎藤隆夫と戦争論』東京大学名誉教授 伊藤隆
『金融・経済の本当のこと』経済評論家 是松孝典
2月13日『日本の神話を探る』國學院大学講師 高森明勅
3月13日『今、日本人はどう生きればいいのか』
新・松下村塾塾長 濤川栄太

第8期〈平成11年度〉基本テーマ「いかにすれば日本を再生できるのか」

平成11年

- 4月10日『日本外交の進むべき道』外交評論家 加瀬英明
5月 8日『日本について、日本の教育について私の考える事』
教育評論家 小浜逸郎
6月21日『民主主義を疑え』埼玉大学教授 長谷川三千子
7月10日『最近の国際情勢と日本外交』外交評論家 岡崎久彦
8月21日『最近の国際情勢と日本』杏林大学教授 田久保忠衛
9月11日『日本の滅亡』明治大学教授 入江隆則
10月16日『日本人とは何か』電気通信大学教授 西尾幹二
11月13日『論戦布告』一憲法をどうする一
高崎経済大学教授 八木秀次
12月11日『今、日本人に問われているもの』
新・松下村塾塾長 濤川栄太

平成12年

- 1月22日『日本人と天皇』元共同通信社国際局長 橋本明

2月19日『遊び心と感性の復権』産経新聞編集委員 小田孝治

3月20日『どうすればいい、日本の教育』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

第9期〈平成12年度〉基本テーマ「日本人の生き方」

平成12年

4月 8日『日本人の生き方』

新・松下村塾塾長、教育評論家 濤川栄太

5月13日『児玉源太郎と歴史に学ぶ「生き残る道は必ずある！」』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

6月10日『歴史に学ぶ』新・松下村塾塾長 濤川栄太

7月 8日『日本人と歴史』新・松下村塾塾長 濤川栄太

8月 5日『日本人と政治』産経新聞政治部次長 對馬好一

12月 9日『いかにすれば人間力はつくか』新・松下村塾塾長 濤川栄太

平成13年

1月20日『日本人と宗教』放送作家 峰順一

2月17日『古典に学ぶ』新・松下村塾塾長 濤川栄太

3月17日『IT革命とその時代』ソニーVB統括室主席 松本哲郎

第10期〈平成13年度〉基本テーマ

「21世紀、日本・日本人はどう生きればいいのか」

平成13年

4月13日 新・松下村塾10周年記念セミナー

『21世紀、日本・日本人はどう生きればいいのか』

上智大学教授 渡部昇一

元駐タイ大使 岡崎久彦

新・松下村塾塾長 濤川栄太

5月19日『今、憲法をどうすればいいのか』駒沢大学教授 西修

6月 9日『人は何故生きるのか』新・松下村塾塾長 濤川栄太

7月14日『21世紀にどんな日本人を創るか』

千葉大学名誉教授 多湖輝

8月18日『石原慎太郎・東京・日本を論ず』

郵船航空サービス(株)代表取締役会長 高橋宏

9月 8日『日本改革のチェックポイント』新・松下村塾塾長 濤川栄太

10月13日『日本人の美意識について』山種美術財団理事長 山崎富治

11月10日『これから日本はどうすればいい』

参議院議員・前慶応大学助教授 鈴木寛

12月 7日 日本再生シンポジウム

『「首都圏スーパー新空港」実現で日本再生の突破口を！』

参議院議員・前慶応大学助教授 鈴木寛

一橋総研事務局長 鈴木壯治

郵船航空サービス(株)代表取締役会長 高橋宏

首都圏湾央新空港研究会委員 中村哲

共同通信社社友 橋本明

グローバルハブ研究会幹事長 渡邊信夫

コーディネーター 新・松下村塾塾長 濤川栄太

平成14年

1月19日『アメリカ信仰を捨てよ』一橋総研事務局長 鈴木壯治

2月16日『日本は人間の尊厳・地球の尊厳を大切にす旗手になろう』

凸版印刷(株)特別相談役 鈴木和夫

3月 9日『どうなる日本経済』住友生命総合研究所社長 前原金一

第11期〈平成14年度〉基本テーマ

「日本・日本人は何をもって生き残ればいいのか」

平成14年

4月13日『人はなぜ生きるのか』作家 安部譲二

5月11日『日本・日本人は何をもって生き残ればいいのか』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

6月22日『経営者はこうすれば生き残れる』経済評論家 是松孝典

7月13日『どうなる日本経済、経営をどうすればいい』

矢野経済研究所代表取締役副社長 矢野弾

8月10日『どうすればいい日本の教育』教育評論家 阿部進

9月14日 問題提起『新・松下村塾の使命と役割』塾生討論

(株)美研代表取締役社長 小林一三

歯科医師 阿部仁美

10月12日『国際情勢とこれからの日本の進路』外交評論家 岡崎久彦

11月 9日 問題提起『企業の生き残りの秘策を考える』塾生講義

(株)インテック代表取締役 尾沼好博

(株)ガイアコミュニケーションズ代表取締役 栗原弘樹

経済評論家 是松孝典

12月14日『日本経済が生き残るにはどうすればいいのか』

一橋総研事務局長 鈴木壯治

平成15年

1月28日 新・松下村塾出版記念パーティ・セミナー

『今、日本経済をどうする』

一橋総研事務局長 鈴木壯治

矢野経済研究所特別顧問 矢野弾

慶応大学教授・元大蔵省財務官 榊原英資

衆議院議員 亀井静香

新・松下村塾塾長 濤川栄太

2月 8日『右脳開発で人間力が爆発する』教育学博士 七田眞

第12期〈平成15年度〉基本テーマ「日本国浮上と日本人の精神的進化」

平成15年

4月12日『健康について、人生について、いい生き方を考える』

医学博士・前日本医師会常任理事・前上智大学 森田浩一郎

5月17日『第三空港実現で日本を浮上させる』

首都圏湾央新空港研究会委員 中村哲

6月14日『「夏目漱石論」から日本人の生き方を考える』朝永英明

7月12日『この秘策で日本経済は必ず復活する』

日本経済復活の会会長・理学博士 小野盛司

9月13日 問題提起『逆風の時代を貫く経営者が語る』塾生講義

(株)鶏繁代表取締役 播本繁雄

ジュエリーデザイナー 阿久津扶見

12月20日『今、日本・日本人はどう生きればいいのか』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

平成16年

2月14日『これからの日本経済』

矢野経済研究所特別顧問 矢野弾

大阪学院大学教授・経済学博士 丹羽春喜

3月13日『恐怖のバイオテロにどう立ち向かうか』

ジョージタウン大学法科大学院客員教授 松延洋平

第13期〈平成16年度〉基本テーマ「日本をどうする」

平成16年

4月10日『どうなる中国』作家・評論家 宮崎正弘

5月15日『出版文化からみてきた戦後日本・日本人』

出版プロデューサー 福島茂喜

6月12日『日本の敵は日本人』～目覚めよ、日本人！～

アジア経済人懇話会会長、前東急エージェンシー取締役会長 前野徹

7月10日『米中・世界はどうなるそして日本はどう生きればいいのか』

一橋総研事務局長 鈴木壮治

9月11日『政治・経済・歴史・教育が面白いほどよくわかる話』

作家・政治史研究家 瀧澤中

10月16日『中国をどうする』拓殖大学客員教授 黄文雄

11月13日『緊張高まる朝鮮半島と日本』東京基督教大学教授 西岡力

12月11日『日本国救済宣言』衆議院議員 亀井静香

平成17年

1月22日『どうすればいい日本経済、そして経営』

矢野経済研究所特別顧問 矢野弾

2月19日『日本はどうなる』首都大学東京理事長 高橋宏

3月19日『イラク以後の世界が見えた』作家・評論家 宮崎正弘

第14期〈平成17年度〉基本テーマ「日本の未来を切り拓く」

平成17年

4月9日『日本が生き残る道とは何か』

一橋総研事務局長 鈴木壯治

5月14日『わが祖国日本は崩壊の危機にあり』

アジア経済人懇話会会長、

前東急エージェンシー代表取締役会長 前野徹

7月9日『これからのわが国の生命生活の安全問題と新しい日米関係』

8月20日『中国の本質を見よ』拓殖大学客員教授 黄文雄

9月17日『一武道家からみたこの国の国家像・日本人像』

NPO法人日本憲法協会主席師範

・元キックボクシング世界ミドル級チャンピオン 猪狩元秀

10月15日『今この時代を経営者が生き残るいくつかのヒント』

(株)インターナショナルジュエリーアート代表取締役社長 阿久津扶見

11月19日『人材とは?』

東京エグゼクティブ・サーチ代表取締役会長 江島優

12月17日『日本救済を占う』

経済学者・スリーネーションズリサーチ(株)代表取締役社長 植草一秀

平成18年

1月21日『日本の未来はどうなっていくのか』

矢野経済研究所特別顧問 矢野弾

2月18日『日本は東アジアでどうすれば生き残れるか』

拓殖大学客員教授 黄文雄

3月18日『日本を叱る』政治評論家 山本峯章

第15期〈平成18年度〉基本テーマ

「開關以来の国難をいかに克服していくのか」

平成18年

4月15日『日本生き残りの国家戦略とは』

一橋総研業務統括責任者(COO) 鈴木壯治

5月20日『日本の遺伝子を変える』新・松下村塾塾長 濤川栄太

6月17日『日本をテロから守る』

ジョージタウン大学法科大学院客員教授 松延洋平

7月15日『本物の教育力で日本を再生させよう』教育学博士 七田眞

8月19日『日本を闇から救う方途とは』衆議院議員 西村真悟

9月16日『日本人よ、今こそ草莽崛起しよう』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

10月14日『これからの日本経済』エコノミスト 紺谷典子

11月11日『日本再生は安倍政権でなしとげられるか』

拓殖大学客員教授 黄文雄

12月16日

開塾15周年記念大講演会&村上和雄・濤川栄太共著出版記念会

『これからの日本を再生させるために』

文明史家・拓殖大学客員教授 黄文雄

『日本の遺伝子を変える』新・松下村塾塾長 濤川栄太

『よい遺伝子をオン（ON）にして、可能性を引き出す』

筑波大学名誉教授 村上和雄

平成19年

1月20日『人は何故生きるのか』

—宗教・哲学・思想ほか一切をふまえて—

新・松下村塾塾長 濤川栄太

2月17日『今、劇的に日本を変える』

国際教養大学理事長・学長 中嶋嶺雄

パネルディスカッション

東京エグゼクティブ・サーチ代表取締役会長 江島優

一橋総研業務統括責任者（COO） 鈴木壯治

衆議院議員・元防衛政務次官 西村真悟

大阪学院大学教授・経済学博士 丹羽春喜

日本ダーツ協会副理事長 川崎利秋

3月24日 日本浮上シンポジウム『日本浮上戦略』日比谷公会堂

基調講演 評論家 竹村健一

パネリスト

衆議院議員 鈴木寛

一橋総研業務統括責任者（COO） 鈴木壯治

衆議院議員・元防衛政務次官 西村真悟

共同通信社社友 橋本明

教育学博士 七田眞

コーディネーター 新・松下村塾塾長 濤川栄太

第16期〈平成19年度〉

基本テーマ

「今、『日本の再生』なくば、この国は、崩壊に向かう」

平成19年

4月21日『天皇』共同通信社社友・天皇陛下御学友 橋本明

シンポジウム パネリスト

外交評論家 加瀬英明

文明史家・拓殖大学客員教授 黄文雄

理学博士・前東京理科大学教授 西功

経済学博士・大阪学院大学教授 丹羽春喜

日本経営者クラブ会長 平野嘉重

5月21日『今、日本人はどう生きればいいのか』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

スペシャルゲストスピーチ H. I. S会長 澤田秀雄

6月23日『日本をどうする』

ドトール・日レスホールディングス名誉会長 鳥羽博道

インタビュアー 新・松下村塾塾長 濤川栄太

8月11日『国破れて マッカーサー』

スタンフォード大学フーバー研究所教授 西鋭夫

新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

9月22日『絶壁の淵に立つ日本』前時事通信社代表論説委員 小関哲哉

新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

10月19日『右脳開発ですべての人間の智・徳・能力を高める』

教育学博士 七田眞

『人は何故生きるのか』新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

11月17日『地域主権型道州制日本は激変する』

PHP総合研究所代表取締役社長 江口克彦

新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

12月15日『日本の歴史を正しく伝えよう』

アサヒビール(株)名誉顧問 中條高德

新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

平成20年

1月19日『地球環境・教育・医療他、今こそ、日本・人類を救わねば』

日本科学振興財団 門馬登喜大

新・松下村塾塾長 濤川栄太

2月16日『医療崩壊は確実に進んでいる』東京大学名誉教授 渥美和彦
『今、日本人はどう生きるべきか』

新・松下村塾塾長 濤川栄太

3月18日『正義とは何ぞや』弁護士 田中森一

『日本をこう変える』新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

第17期〈平成20年度〉

基本テーマ

「人類・地球生き残りの最大推進国、輝ける日本を創造しよう」

平成20年

4月19日『どん底の流儀』元衆議院議員 筆坂秀世

『地球環境と人類生き残り』

新・松下村塾塾長・哲学者 濤川栄太

5月17日『日本をどうする!』外交評論家 加瀬英明

新・松下村塾塾長 濤川栄太

6月21日『中国をどうする!』文明史家・拓殖大学客員教授 黄文雄

10月19日『日本の大改革』クマヒラセキュリティ財団会長 熊平肇

11月15日『アメリカ発金融危機と「サムライ資本主義」』

一橋総研業務統括責任者(COO) 鈴木壮治

12月15日『日本社会に告げる』(株)テクノアーツ代表取締役社長 磯貝憲男

平成21年

1月24日『子育ての秘訣をすべて語ります』教育学博士 七田眞

2月21日『次の皇室をどう考えるか』

共同通信社社友・天皇陛下御学友 橋本明

3月28日『健康・医療問題と経営哲学』

(株)玄米酵素代表取締役社長 岩崎輝明

第18期〈平成21年度〉基本テーマ「日本文明への回帰」

平成21年

4月18日『教育戦略と青少年の未来』

千葉経済大学短期大学部名誉教授 飯田稔

5月31日 濤川栄太塾長を送る会(塾葬)如水会館

6月20日『運命を拓く』合気道師範 佐々木将人

7月11日『よく噛んで、笑って元気に百歳まで』

歯学博士・日本咀嚼学会理事

・医療法人富岳会アルプス歯科理事長 寺川國秀

8月22日「歴史探訪『旧皇居跡・東御苑・北の丸公園』散策」

科学技術館での講話

『我が国の科学技術』

工学博士・日本大学名誉教授 佐久田昌昭